

センブリ末 Powdered Swertia Herb

センブリはスウェルチアマリンが主成分であり、苦味健胃薬として消化不良、食欲不振、胃痛、腹痛、下痢等に用いられます。第十五改正日本薬局方では、センブリ末中のスウェルチアマリンの定量法においてHPLCが使用され、テオフィリン、スウェルチアマリンの順に溶出するODSカラムの使用が指定されています。ここでは、L-column2 ODS を用いて試験を行った結果、条件を満たしていました。第十五改正日本薬局方の抽出条件でセンブリから抽出した試験溶液の分析でも良好な分離が得られました。

Key words : センブリ スウェルチアマリン 第十五改正日本薬局方
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

Column : L-column2 ODS (C18, 5 μm, 12 nm), 4.6 mm I.D. × 150 mm L.; Cat. No. 722070
Eluent : H₂O/CH₃CN (91/9)
Flow rate : 0.65 mL/min
Temperature : 50°C
Detection : UV 238 nm
Injection volume : 10 μL
System : -

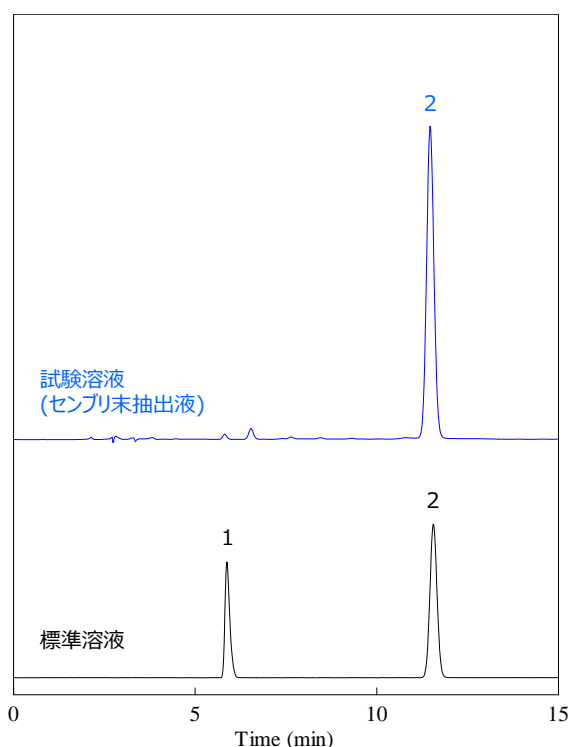
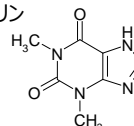


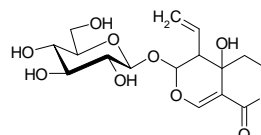
Fig. 定量法 システム適合性(システムのパフォーマンス)

Sample:

1. Theophylline (100 mg/L)
テオフィリン



2. Swertiamarin (100 mg/L)
スウェルチアマリン



Sample solvent: Eluent

	結果	規格値
分離度(1,2)	19	(≥ 10)